



2025.3

vol. 72

# クーパー

## クーパー Info & Topics

### 2025年1月9日(木)~23日(木) 今年も大賑わいの「かいせいカレンダー市」

かいせい協会の主催するカレンダー市が、まちづくりセンターで開催されました。

カレンダー市とは、地域の皆様から寄付してもらったカレンダーや手帳を配布するもので、毎年多くのお客様が来場する人気のイベントです。日めくりカレンダーなど一部は有料ですが、基本的には無料で配布され、会場に設置された募金箱にお気持ちをいただくとのことになっています。お寄せいただいた募金は、障害を持った人への支援へ活用されます。

初日はオープン前から行列ができるほどの大賑わい! 人気の日めくりカレンダーや手帳を求めのお客様が多かったです。



お目当てのカレンダーは、見つけれられたでしょうか…?



◀ブログ

### 2025年2月8日(土) 「令和6(2024)年度 第4回函館西部まちぐらし共創サロン」が開催されました

函館西部地区の未来を市民と地域住民で考える函館市主催の「函館西部まちぐらし共創サロン」がまちづくりセンターで開催されました。こちらは市民やまちづくりに関わる参加者が、人口減少・少子高齢化や空地・空家の増加などの課題を抱える西部地区の未来を考え、共有し、まちぐらしを語り合う場として開催されています。

今回のテーマは「まちづくりの輪をひろげよう」。私たち「函館市移住サポートセンター」を含む6団体が、それぞれの取組についての発表を行いました。移住サポートセンターの担当スタッフからは、移住検討者および移住者に対する定住化に向けたアプローチや、移住業務において心がけていることなどについてお伝えし、多数の質疑にも対応しました。移住サポートセンターの活動や役割を多くの方に知っていただくことができたのと同時に、他団体の活動を知ることができ、有意義な時間となりました。



移住担当スタッフのプレゼンテーションの様子



◀ブログ

2025年5月5日

### ものづくりイベント「NT函館2025」開催のお知らせ

昨年大好評だった、道南ITコミュニティ「はこだてIKA」主催の「ものづくりイベント『NT函館2025』」が、今年もまちづくりセンターで開催されます!

「NT」とは「なんか(N)、つくってみた(T)」の略で、自由な発想と熱意で何かを作った人たちが集まる場所のことを指します。中学生から60代以上の作品づくりが好きな人たちが参加します。

今回は、巨大アーケードコントローラーによるレトロゲームプレイや、Wiiリモコンでファミコン・スーパーファミコンの4P完成版、メタバースで再現した函館西高校などが展示・体験できる予定です! また、NPO法人NEXTDAY協力のもと、子ども向けの電子工作講座も開催されます。

イベントを通して、函館地域のITやものづくり分野におけるITを体感してみませんか。皆さまのお越しをお待ちしております!



◀ 過去のレポート



▶ NT函館2025公式サイト



# はこだて暮らし

「はこだて」での生活を  
はじめてみませんか？



## 2025.1/11(土) 開催 「移住者と市民の交流フォーラム」レポート

函館市移住サポートセンター（函館市地域交流まちづくりセンター）主催「移住者と市民の交流フォーラム」を、2025年1月11日（土）にまちづくりセンター2階多目的ホールにて開催しました。

このフォーラムは、移住サポートセンターと函館の市民活動団体「移住club函館」が共同で開催しました。テーマは「好きなまちで暮らすこと、働くこと」。

当日は56名の参加があり、盛況のうちに終了しました。ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました！



### 冒頭は、大泉潤函館市長のご挨拶から

ご自身の移住の経験談を交えてご挨拶いただきました。

また、函館の現状とこれからについては、函館は中核市の中で人口減少のペースが速いこと、特に若い女性の転出が相次いでいることなどの課題を挙げ、それに対して地域一帯で取り組んでいきたいとお話いただきました。



### パネルディスカッション&交流会



パネルディスカッションでは、引き続き中島さんと、移住club函館の会員の鈴木さん、フリー函館案内人の安立さん、学生団体ISARIBI withの高澤さんと川村さんにご参

加いただきました。

函館を愛して移住し、事業をされている方や大学に通う学生の皆さんに、函館に対する思いを伺ったほか、函館の好きなところ、改善してほしいところ、心境の変化について質問し、意見交換していただきました。

そして、最後は登壇者と一般参加者合同の交流会を開催。初対面で、話が弾むかなという不安も吹き飛ばすくらいに、各テーブルは大盛り上がり！皆さんの仲も深まったようで、とても嬉しく思います。

### 函館に移住し、アテンドドクターとして 起業された中島さんの講演

医師の資格を持ち、111カ国を旅して様々な人や文化に触れた中島さん。多くの地域を見てきた上で、函館に定住し、トラベルアテンドドクターとして起業された経緯等についてお話いただきました。



函館に住むきっかけは医局人事のためだったとのこと。任期を終えて一度離れたものの、函館の景観や四季の美しさに魅力を感じ、どうにかして戻ることができないかと考えた際に、このタイミングを自分の夢を叶えるきっかけとしても良いのではないかと思い、函館で起業されたそうです。

ご自身の医師としての経験と海外経験という強みを活かしたお仕事をされ、大好きな函館に暮らす中島さんの熱意あるお話に、参加者の皆さんは真剣に耳を傾けていました。



### アテンドドクターとは？

トラベルアテンドドクターとは、旅行介護士の資格を有する、旅に精通した医師のことです。中島さんは、魅力あふれる函館の街をどんな方でも楽しんでいただけるように、バリアフリー対応の旅行プランを提案し、自ら案内します。（函館以外の街も対応可能です！）



参加者の皆さまのおかげで、素敵なフォーラムになりました！改めてありがとうございました！  
まちづくりセンターでは、今後も移住者や移住検討中の方向けのフォーラムを開催してまいります。情報はまちづくりセンターHPやSNS、メールマガジンを通してお届けしますので、ぜひチェックをお願いします。

移住サポートセンター 相談窓口／9時～21時（年末年始を除く） ☎ 0138-22-9700

✉ info@hakomachi.net

（函館市地域交流まちづくりセンター内） ☎040-0053 函館市末広町4-19



移住サポートセンター  
（函館市地域交流  
まちづくりセンター内）



はこだて暮らし  
Instagram  
@hakodatekurashi  
移住サポートセンター



活動  
団体

こどもたちに豊かな心と喜びを！～成長と自立を願って～

— 函館子ども劇場 —

私達は、人との繋がりと文化の中で、生きる力を育もうと活動している子育て文化運動団体です。こども劇場運動は1966年に福岡で始まり、子どもたちと生の舞台鑑賞をする活動を全国に広げ、函館では1971年に結成されました。現在では200名余の会員がいます。

活動は例会・自主活動を2本の柱としています。例会は、年齢に合わせた生の舞台を年4回鑑賞します。会員皆で選んだプロの作品で、子どもだけでなく大人の心も育まれます。

誰とでもやっていく力を育むための自主活動は、子どもには体験・遊びが大事！と様々な遊びを中心に、豊かな体験をと会員で考え、集まった皆で作る場にしています。地域でつながりを持てるよう、身近なエリアでのサークルが、活動の基本単位です。子どもの生きる力をつけていくのに、まずは大人同士が思いを分かち合うことを大切に、共に考え、仲間で育ちを支え合う関係をめざしています。

これからも、50年以上続けてきた活動を、いま子育て中の仲間と、希望をもって長く続けます。子どもの数は減り、人との繋がりも薄くなっていく中でこそ、誰かのことを思い合える安心の輪を、人から人へ広げます。

当団体には全ての親子さんはもちろん、子どもをとりまく大人の方、生の舞台を見たい方など、どなたでもご入会いただけます。お問合せお待ちしております！



「流しそめん」といを組み所からみんなで準備、流すのもこどもたちで。



ホールが蝉しぐれ響く真夏のシラカバ林に大変身！第300回記念例会「めっくらもっくらどおんどん」

函館子ども劇場

- ◆代表者／和泉 佳代子
- ◆会員数／234名(2025年1月27日現在)
- ◆対象者／すべての方(会員は4歳以上。0～3歳は保護者が会員であれば参加できます。)
- ◆会費／1,000円/月(入会金は200円)
- ◆所在地／函館市高盛町22-7
- ◆問合せ／0138-55-3782 (10時～15時、土日祝休み)

今後の予定 2025年4月23日(水)

第305回例会(小1以上例会)「おじさんとおおきな木」

\*会場：函館市民会館 大会議室

\*対象：小学校1年生以上

どなたでも楽しめる舞台です！会員になって一緒に観ましょう！



【発行】函館市地域交流まちづくりセンター

〒040-0053 北海道函館市末広町4-19 TEL. 0138-22-9700 FAX. 0138-22-9800

開館／9:00～21:00  
休館日／12月30日～1月3日

このほか器材点検のため月1回程度臨時休館する場合があります。詳しくはセンター内の掲示やWebでお知らせしています。



<https://hakomachi.com>

**MAP**

建物裏手に駐車場あり。2時間まで無料。

指定管理者／NPOサポートはこだてグループ(2007年4月～)

- ◇函館市役所1F ◇亀田支所 ◇湯川支所
- ◇銭亀沢支所 ◇戸井支所 ◇恵山支所
- ◇楳法華支所 ◇南茅部支所 ◇函館市中央図書館
- ◇渡島総合振興局 ◇亀田交流プラザ
- ◇函館市企業局アクロス十字街
- ◇総合保健センター ◇函館市民会館
- ◇函館アリーナ ◇函館市民館
- ◇函館市女性センター ◇函館市青年センター
- ◇函館コミュニティプラザGスクエア
- ◇函館市青少年研修センターふるる函館
- ◇中島れんばいふれあいセンター ◇サン・リフレ函館
- ◇函館市総合福祉センターあいよる21
- ◇どさんご交流テラス(東京・有楽町)

「はこまち通信クーポラ」に関するご意見、ご感想をお寄せください。HPにメールフォームがございます。✉

次号は7月末発行予定です(年4回)



まちづくりセンター公式  
YouTube チャンネル



公式WEB

まちづくり、市民活動、各種助成金、移住・定住に関する問い合わせなど、お気軽にご相談ください

## まちづくりセンター 団体登録についてのお願い

2025年4月より、まちづくりセンターを登録団体としてご利用いただくには、新たに手続きが必要になります。過去に登録している団体も、改めて手続きが必要です。各団体の活動状況確認、活動支援も兼ねておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。



### ご登録のメリット

- まちづくりセンターの会議室・研修室・多目的ホールを無料で使用できます。
- まちづくりセンターのメーリングリストに登録され、「まちづくりセンター主催事業のお知らせ」「助成金情報」「他の市民活動団体の情報」等を得られるようになります。



### 登録条件

下記のすべてに該当する場合は、登録することができます。

- ◆営利を目的とせず、自発的に行われる公益性・公共性の高い活動を他者のために行っている団体(個人、同好会、月謝が発生する教室は含まれません)
- ◆函館市内に所在地を有している団体
- ◆新規会員を募集している団体
- ◆ご登録いただいた情報を、まちづくりセンターの広報誌・HP等で公開できる団体



4



### 登録に必要な書類

- (必須) ◆登録申請書 ……申請書はこちらからダウンロードできます▶
- (必須) ◆団体規約または定款
- (ある場合) ◆定期総会議案、活動報告書、事業計画書、収支決算書等の活動実績が分かる資料



#### 注意事項

\*登録年度内に無断キャンセルを2回行った市民活動団体は、その日から年度末まで使用料をお支払いいただきますので、計画的なご予約をお願いします(無断キャンセルとは「予約をしているにも関わらずなんの連絡もなしに利用しなかったこと」をさしますが、事前に予約している利用開始時間を過ぎてからのキャンセルについても無断キャンセルとみなします)。  
\*登録された内容と異なる不適切な利用が認められた場合(また貸しなど含む)は、使用料をお支払いいただきます。

#### お願い

\*会場設営は原則的に団体側で行ってください。  
\*可能な範囲で「まちセンまつり(旧:NPOまつり)」などの主催イベントへのご出展をお願いします。  
\*情報発信につとめて、新規会員を積極的に募集してください。  
\*団体活動を促進するイベント等の情報(チラシなど)を積極的にまちづくりセンターへお持ちください。

詳細については、まちづくりセンターまでお問合せください。



2025年4月にまちづくりセンターのホームページもリニューアルします！  
団体の登録方法をはじめ、まちづくりセンターに関する情報を、より分かりやすく掲載します。ぜひご覧ください！

